

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市泉ひまわりの家		
2 指定管理者	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会		
3 指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和3年度 4,627人（前年度比 106.8%）</li> <li>・ 令和2年度 4,331人（前年度比 97.2%）</li> <li>・ 令和元年度 4,457人（前年度比 103.6%）</li> </ul>	
	《事業》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主として知的障害者が通所し、日常生活に必要な支援を行うことで、福祉の増進を図る。</li> </ul>	
5 収支の状況	《費用》	( )は前年度決算額	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理者に支払った費用 65,739千円（68,676千円）</li> <li>・ その他市が負担した費用 1,093千円（163千円）</li> </ul>		
6 利用者の声	《収入》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用料収入 68,453千円（66,701千円）</li> <li>・ その他収入 0千円（73千円）</li> </ul>	
	《実施状況》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者アンケートを令和4年1月に市で、同2月に施設運営法人で実施したほか、施設外部の委員を含む施設運営委員会の実施（年2回 ※うち1回は書面開催）、保護者会への参加（年4回 ※一部中止あり）。</li> </ul>	

## 二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	<p>条例で定める設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解し、利用者支援に従事している。</p> <p>また、利用者の障害特性を十分に把握したうえで配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。</p> <p>他の施設や関係機関との連携も適切に図られている。</p>	42/42
II 施設の運営管理体制	<p>法に定められた職員数が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。</p> <p>また、個人情報の取扱いについては、管理責任者を定めるとともに、職員研修を行い、意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。</p> <p>事故や災害の発生に備えた体制も整えられ、事故防止策の研修も適切に実施している。</p>	24/24
III 施設・設備の維持管理	<p>老朽化が進んでいる施設ではあるが、利用者の安全を確保し、安心して利用してもらえるよう、施設の保守点検や清掃を丁寧に行い、清潔に保たれている。</p> <p>また、感染症対策で小まめな手洗いや換気をしながら、節電・節水などの省エネ対策も継続して施設運営にあたっている。</p>	24/24
IV サービスの質の向上	<p>職員の資質向上や意識高揚のため、研修会への参加に適切に取り組んでいる。</p> <p>また、支援の充実のため他の障害者施設等も含めた施設運営委員会を継続して実施する等、施設の現況説明や情報交換を行い、施設運営上の課題を把握するなど、利用者等の意見を反映した施設運営に努めている。</p> <p>利用者の支援に支障があるため、職員は名札を着用していない場面もあるが、掲示による職員紹介を行っている。</p>	28/28
V 施設固有の基準	<p>指定管理施設としての基準を遵守しながら、医療的ケアを必要とする利用者の障害特性の細部までの把握に努め、支援の充実にも努めている。</p> <p>利用者本位の支援に努めつつ、サービスの質の向上を目的とした取組みも行っている。</p>	8/8

### 三 評価総括

《指定管理者（仙台市社会福祉協議会）による自己評価》	
<p>新型コロナウイルス感染症拡大により、施設運営に大きな影響を及ぼしましたが、事業に於いては、利用者の個性やニーズに応じた意思決定支援を基に、支援内容の充実を図った。地域参加については、社協の職員であることを意識し、地域福祉推進に向けた取組み等も積極的に行った。また、人材育成という課題については、OJTを基本として、事業継続計画（BCP）など各種研修へ参加し伝達研修を行い、職員の資質向上に努め、支援体制強化や施設内外の環境整備等に取り組んだ。</p>	
1	<p>個別支援計画に基づくサービスの提供とサービスの質の向上</p> <p>個別支援計画に基づき地域生活へと移行した利用者が継続して通所できるよう状態変化を把握し、ご家族が抱える悩み等の相談に応じ、安心して利用継続できるよう努め、個別支援計画の見直しを適宜に行った。</p>
2	<p>日中活動（個別・グループ）の充実</p> <p>障害特性を生かした各種活動内容（創作活動、環境活動、農作業、社会参加等）を充実させることにより、活動意欲が増し情緒の安定にも繋がった。また、家族より要望のあった健康維持を目的とした集団体操やリズム体操等を取入れ、身体機能低下予防を計画的に実施した。</p>
3	<p>医療的ケア支援の充実</p> <p>医療的ケア者（進行性難病）の重度化が顕著なことから、医療機関や関係機関と連携し、環境整備等を再整備し支援体制を強化した。また、医療依存度の高い利用者の支援については、主治医との連携強化に努めるとともに専門性の高い研修会へ積極的に職員を派遣し、職員の支援技術向上に努めた。</p>
4	<p>施設運営委員会の開催</p> <p>運営委員会（年2回）では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響や医療ケア者へ対応等について意見交換を実施し、幅広いご意見をいただき施設運営に反映させた。また、保護者との意見交換やアンケート結果については、総合満足度等が高い評価をいただき、大変良いとの回答結果を多く得た。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>協定書及び仕様書に従って適切、良好に行われた。</p> <p>利用者や家族のニーズに応じた支援を行うとともに、医療的ケアを必要とするなどの質の高いサービスに応えられるよう、人材育成に力を入れているほか、看護師等による支援により利用者の個々の状態に合わせたサービス提供が行われている。</p> <p>支援の充実のため他の障害者施設等も含めた施設運営委員会も継続して実施しているほか、感染症対策に留意しながら地域との交流を図り、福祉施設や障害のある方への理解促進に努めるなど、総合的には高く評価できる。</p>	S

### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害者支援課